

磐城中正新報

發行日 毎月二回 二日十五日
定価 郵送共 一部金 十
廣告料 普通面 拾三 諸行
一回五拾錢 場所指定十錢
印刷所 安澤榮作
發行所 磐城中正新報社
編輯人 安澤榮作

和洋 金物問屋
電話九・九九番
釜屋商店

時勢に顧み力行を促す

岡田首相の重大訓示

前車の覆りしを見て

岡田首相は去る廿日大政綱を中外に聲明し政界の浄化、官紀肅正を高唱し現内閣の使命を明らかにし前内閣の遺物たる大藏省事件に深く省みるべきあり、由來大藏省事件の展開は、前内閣を倒壊し、更に前閣僚の收容を見るに至つた、この眼前の事實に對しても新内閣が、其政綱の第一に綱紀、官紀の肅正をあげたのは當然の措置であるが、岡田首相は更に、其趣旨を徹底すべく、各官吏に對して過般嚴重なる訓示を發した、官吏が其職司に應じその本分を恪守し忠順公正私心を去り、私利を離れ、權勢に屈せず情實に感はず、廉潔剛直の精神と公明正大の態度を一を以て、その職責を遂行することを要望するとともに「特に世事後難にして人心曲折多きに考へ更に一段の戒慎を加ふる」とに留意すべきことを戒告したの、時弊にふれたる注意であると言はねばならぬ

水産試験場の敷地決定す

築港事務所内に

水産試験場の敷地は先に現在の試験場の先地埋立地を候補地としてゐたが同地は敷地敷設するべき臨海鐵道の線路に當り且つ今後発展の重要地となすべき位置にあり小野町長を始め町議連が町將來の發達に支障を來たすと云ふので町當局から再三敷地變更方を縣へ交渉してゐたが縣では内務省の同港築港事務所の福來所長と協議の結果、同事務所内に約五百坪の敷地を區切り水産試験場と同講習所の二棟を本

近詠

北斗莊小品

酒饗に盡の蚊の鳴く厨かな
自若たり芭蕉廣葉の青蛙
埒もなく太り過ぎたる日輪草
しゆるの葉の涼しき音や雨蛙
松風や軒の下なる蟻地獄
水打つて涼しき縁にひとりかな
水打つて軒の葱に微風あり
遠雷を聞きつゝ風呂を焚きにけり
糊こはき浴衣の涼し簾寝椅子
夏の星またゝき居れと庭暗らし

花春の銘ある冷し酒を恵まれて
北斗莊月を賞して冷凍酒
明け暮れを松風ばかり夏断かな

官營團體保險

來議會に提案

逓信省が貧困者救済を目的と

蓄膿症に就て

茨城縣助川町 鏡徳寺住職 山田秀明

世の中に四百四病と云ふ諺があるが何れの病氣に罹つて苦しむがその内でも蓄膿症が最も苦しい病氣はなしこれれ再上京を期して歸寺爾來寺位に病氣はない、由來蓄膿症に罹りては専門家は人より同病に就いて耳寄りな話を聞いた

ハイ捕デー

同業平町長橋町のいはき新報社主催第二回傳染病豫防捕獲大會は平町役場、平警察署、平消防組、石城郡醫師會、平衛生會、平看護婦會其他有志後援のもと七月二十六、七の兩日午前八時より午後四時まで町役場庭内に特別受付場を設け百匹以上捕つた方へ抽籤券と各種取紙とお土産品を進呈し抽籤の上一等金五圓一名、二等二圓二名、三等日圓の丸の國旗一本二十名と云ふ賞品なので非常な賑ひを呈し大會會程に終了した

磐城銀行の第二回配當

大体六分見當か

破産整理中の平町磐城銀行破産管財人たる大嶺、増田兩辯護士は去る廿一日平區裁判所に監査委員を招集協議の結果、同行の第二回配當金として預金者に金一万二千五百二十五圓五十六錢を本月十八日から三日間に亘り配當することに決定した由であるが、債權總額廿九萬九千九百八十一圓五十二錢に對し大体六分の配當となる譯である、八日頃重ねて監査委員會を開催し配當率を決定する筈である

磐城炭礦指定販賣

片寄祐弘商店

薄硝子製塲所
電話六九七番

二本松電氣株
式會社
小名濱支店

日用品
百貨店
明治屋
小名濱町

日用・雜貨・荒物
丸一屋商店
小名濱町

暑中御伺

貴族院議員

金成通

縣會議員

萩原義藏

野崎滿藏

小野晉平

鷺清昇

坂本龜太郎

山崎登

渡邊德之助

小田吉治

川瀬幸治

永山徳一

矢内半藏

永山忠二

菊池壽七

遠藤心光

宮下秀貫

諸橋外科醫院
院長醫學博士 諸橋鐵彌

暑中御伺

衆議院議員

鈴木辰三郎
比佐昌平

萩原申八

石城郡町村長
石城郡各學校長會
植田水力電氣株式會社
古河石炭鑛業好間鑛業所
入山探炭株式會社坑務所
五十嵐炭礦不動澤鑛業所
片倉鑛製糸株式會社
東部電力會社平營業所
石城郡銀行組合
平運輸株式會社
福島貯蓄銀行平支店
平庶民金庫
湯本信用無盡株式會社
杉山炭礦鑛業所
浪花炭鑛鑛業所
磐城建物株式會社

平町會議員

會川延太郎
吉田正金
關田正一郎
多田笑次郎

米穀商
長瀬富彌
平材木町

山崎合名會社

平町一丁目
水野藥局
電六九九番

平町二丁目
大平藥舖
電六四二番

會津桐自製專門
小松履物店
平町三丁目 電話六七三番

高久病院
平新川町一九
木村病院

堀江工業株式會社
江口忠一

平町三丁目
なかや洋服店
電話二〇三番

郡山會社
平出張所
丸ほん
平町三丁目

赤羽松堂
小野藥局
平町四丁目

平町四丁目
關内藥局
電話四〇番

平紺屋町
織田材木店
電話四六〇番

平町二丁目
西村屋藥局
電話三三番

平町
石川亭
電話四三番

土木建築請負業
只野忠康
強口唯七郎

木澤常松

平古鍛冶町
志村米店
電話四七四番

平驛前通り
鐵山用
諸機械
田邊商店
電話二九四番

クリーニング
海老原洗濯店
平町才地小路

職業紹介業
木村仁吉
湯本上町

吉田恭平商店
籠倉醫院
湯本町

新調並に修理大勉強
仙臺屋靴店
平町振袖小路

肉の御用命は
三三三屋肉店へ
平町 電話三三三番

職業紹介業
石川八郎
湯本町上町

平町
市原醫院
電話一四四番

平町一丁目
丸屋たび洋品店

平南町
御料理仕出し
魚敬
電話六一七番

平藝妓屋組合
湯本藝妓屋組合
平町旅館業組合

平古物商組合長
武藤治郎三郎

平町四丁目
萬屋青果間屋
萬屋自動車部
電話二七三番

久保木商會主
久保木初太郎
平町北目通り今新田

磐城共濟病院
院長醫學博士 石山謙郎

小松崎洗張本店
平町二丁目 電話三七九番

各國石材
美術彫刻
山野邊石材店
平町紺屋町

會田美粧院
院主 會田タミ子
平町二丁目 電話四四四番

酒 銘「福美」釀造元
内郷村四家又一

大黒屋勝次商店
平町三丁目 電話二一六番

好間軌道株式會社
乗合 貸切
自動車部
電話四二三番

平町三丁目
三井自動車部
電話六八五番

平紺屋町
應入院
藤沼醫院
電話五〇七番

貨切の御用は
不二タクシーへ
平白銀町 電話三二番